六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。そのプログラムの紹介や、山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第２火曜日に掲載）

青空主義
兵庫おでかけ情報

火 Tue イベント
水 Wed グルメ
木 Thu レジャー
金 Fri アート
土 Sat エンタメ

■情報のご提供は
FAX 078-360-5512
E-mail
aozora@kobe-np.co.jp

根岸真理が案内　山の四季便り

身近な避暑地でキャンプを

手ぶらでテント泊
来月10～11日、六甲山カンツリーハウス

芝生が心地よい広い広場にテントを張って宿泊。自然の快適さを実感できる＝いずれも六甲山カンツリーハウス（昨年８月）

家族で野外調理を楽しむのもキャンプの醍醐味

ダッチオーブンなど専門の調理器具の使い方もていねいに教えてくれるので、初心者でも安心

山の日の朝日を六甲山上で迎えられる

間もなく夏本番。都市部はヒートアイランド現象も手伝って、うんざりするような暑さが続きそう。だが六甲山上は別世界。標高のおかげでぐっと気温が低く、身近な避暑地として親しまれてきた。快適な環境を生かし、「六甲山カンツリーハウス」（神戸市灘区）は8月10日から翌11日朝にかけて、「六甲山からご来光を見よう～手ぶらでキャンプ体験」を開く。山の日に当たる11日の日の出を山で迎えられ、遠くのリゾート地に行かなくても、夏休みの思い出がつくれる。

会場のカンツリーハウスは芝生の心地よさで知られる。そこにテントを張る設定は、自然と触れ合うには最適。アウトドア初心者でも気軽に参加でき、家族や仲間とテント泊し、野外での調理が楽しめる。テントをはじめ必要な物品、器具はすべて貸りることができる。講師が使い方も教えてくれる。また水道やトイレもあるので、未経験者がキャンプデビューするには最適の機会だ。

初日は午後に集合。テント設営から始まり、薪のたき付け方、ダッチオーブンの使い方などを学ぶ。夕食はさっそく自分たちで豪快な野外料理をつくる。食後はたき火を囲んだり、星空を眺めたりしてくつろぐ。テントで眠る体験は、子どもも大人もわくわくするだろう。翌朝は夜明け前に起きて、眺望のいいガーデンテラスから荘厳なご来光を迎える。

筆者は昨年のキャンプに参加した。夜は〝天然クーラー〟が効き過ぎて、少し寒かったが、天から降るような星空の美しさ、夕景や夜明けの光景は格別だった。昼間はよく訪れる場所なのに、まるで違う世界に来たようだった。子どもらにキャンプ体験をさせたいご家族には特にお薦めだ。

10日午後2時から翌11日の午前10時ごろまで。雨天中止。参加費は大人1万円、子ども6千円（先着10組、1組4名まで）。申し込みは六甲山カンツリーハウス☎078・891・0366

◇　◇

摩耶山の神戸市立自然の家（神戸市灘区）でも、「家族森林浴キャンプ」を実施する。通常、10名以下での利用はできないが、個人利用対象の夏休みプランを用意。1泊2日でキャビンに宿泊し、野外炊事やキャンプファイヤーが楽しめる。

7～8月にかけて全15回実施する。利用料A棟（トイレ付き定員8人）7500円、B棟（トイレなし定員6人）6500円の2タイプ。申し込みは神戸市立自然の家（家族森林浴キャンプ担当）☎078・891・0001

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山シーズンガイド～春・夏」など。

山小屋

天然氷の冷風体感　13日から

大寒の頃に行われる「六甲枝垂れ」の氷の切り出し＝六甲枝垂れ

六甲ガーデンテラスの自然体感展望台「六甲枝垂れ」で13日から、天然氷の冷たさを体感できる「冷風体験」が始まる。標高約890㍍の展望台の周囲の「氷棚」では、冬に氷が張る。大寒の頃、氷を切り出し、建物内部の保管施設「氷室」に運び込む。

夏、密閉していた氷室を開いて、外の空気を取り込むと、氷で冷却された涼しい風が展望台内部へ流れ込む。中に設置されたベンチに座ると、ひじかけ部分からひんやりとした風が出てくる。展望台は総ひのき造りで、冷風と共に、爽やかなヒノキの香りが楽しめる。

氷室は通常非公開だが、初日限定の「氷室見学ガイドツアー」に参加すると、内部を見ることができる。先着20人、無料。参加希望者は電話で申し込む。六甲ガーデンテラス☎078・894・2281

文学部

◆四万六千日大祭　8月8日11時～9日0時半ごろ、摩耶山天上寺（摩耶ロープウェー「星の駅」徒歩約10分）。本尊の十一面観音のご利益を最も多く得られる功徳日で、この日の参拝は4万6千日の参拝に等しいとされる。8日13時から柴燈大護摩供、18時半から納涼盆おどり、19時から萬燈会、23時には天から除災招福の星が下ると伝えられる星下り会式など。摩耶山天上寺☎078・861・2684

芸術学部

◆夕涼みコンサート　7月22、23日各日17時～18時半、六甲高山植物園ナツツバキ広場（17時以降の入園は西口のみ、六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「オルゴールミュージアム前」徒歩約3分）。緑に囲まれて音楽を楽しむ。22日は佐野仁美さん、23日はMae.さんが出演。雨天時は屋内開催。17時からは夜に咲く花などの「特別ガイド」も。鑑賞無料だが入園料が必要。中学生以上620円、4歳～小学生310円、65歳以上520円（要年齢証明書）。同園☎078・891・1247

環境学部

◆夏休みの宿題解決！　観察の達人になろう～絶滅危惧種編～　7月15日～8月31日10～17時、六甲高山植物園（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「高山植物園前」）。園内の「絶滅危惧植物」をテーマにした観察会＝**写真**。各ポイントを回ってワークシートに記入しながら、生態などを学ぶ。入園料中学生以上620円、4歳～小学生310円、65歳以上520円（要年齢証明書）。同園☎078・891・1247

食文化学部

◆オテル・ド・摩耶16周年イベント　7月16、17日、オテル・ド・摩耶（摩耶ロープウェー「星の駅」から徒歩5分）▽MAYAビュッフェランチ＝16日11時半～15時（13時半受け付け終了、90分制）。旬の食材を使ったイタリアンや自家製スモーク料理、デザートなど。中学生以上2500円、小学生1000円、未就学児無料。先着70人。要予約▽アニバーサリーディナー＝17日18時半、兵庫県産食材を使った特別メニュー。神戸市西区産の王様トマトの冷製スープ、神戸ポークの自家製生ハムと豚足のテリーヌ、明石産天然鯛のインパデッラ丹波枝豆のソース、神戸牛フィレ肉のビステッカ　地元野菜のガルニ添え、六甲山の蜂蜜を使ったムース　灘の地酒ジェラート添えなど。中学生以上8640円。子どもは通常メニュー。先着50人。前日までに要予約。帰りは1人1000円にてタクシー手配可能（要予約）。ペット不可。オテル・ド・摩耶☎078・862・0008

総合学部

◆チュービングスライダー　7月15日～8月31日（7月18～21日は除く）11時半、13時半、15時半の1日3回。各1時間。六甲山カンツリーハウス内雪まつり会場横（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「カンツリーハウス」）。自然斜面を大きなタイヤチューブ形のソリで滑走。スピード感とくるくる回る不安定さでスリルを楽しめる。参加費300円（別途入園料中学生以上620円、4歳～小学生310円）。六甲山カンツリーハウス☎078・891・0366

◆摩耶山七夕まつり　7月22日～8月6日、まやビューライン「星の駅」「摩耶ケーブル駅」、オテル・ド・摩耶、摩耶山天上寺、市立自然の家、六甲山牧場、六甲ケーブル下駅、市立森林植物園の8カ所。各施設に七夕の笹を設置。願いを書いた短冊を飾れる。応募用紙に必要事項を記入の上、応募箱に入れると抽選で参加賞が当たる。無料（各施設の入場料・駐車料が別途必要）。摩耶山観光文化協会（摩耶山天上寺内）☎078・861・2684

◆大人の夏休み～ブナカフェ～　8月5～27日の土日・祝日、8月14～16日11～16時（ラストオーダー15時半）、六甲高山植物園（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「高山植物園前」下車すぐ）。真夏でも30度以下のブナ下広場にカフェを開設。ハンモック＝**写真**、ブックスタンドを常設（17時まで）し、自然の中でお茶を楽しめる。コーヒー、マロウブルーティー、フレーバーソーダ各300円、シュガードーナツ200円。入園料中学生以上620円、4歳～小学生310円、65歳以上520円（要年齢証明書）。雨天中止。同園☎078・891・1247

◆六甲ガーデンテラスのナイトマーケット　8月5～27日の土日・祝日、8月14、15日16～20時、六甲ガーデンテラス（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」）。無料。1000万ドルの夜景とともに兵庫県自慢のグルメが味わえる夜店、大道芸のパフォーマンス、ヨーヨー釣りなどが楽しめる＝**写真**。六甲ガーデンテラス☎078・894・2281

◆摩耶山笹おい七夕まつり　8月6日17時半～20時、摩耶山掬星台集合（摩耶ロープウェー「星の駅」）。掬星台で短冊に願いを書いて笹に飾り、笹を背負って摩耶山天上寺まで歩く。同寺で摩耶山のゆるキャラ「しゅげんくん」がお出迎え。短冊につづった願いを祈願した後、掬星台に戻り、紙芝居型ショートアニメの上映会と音楽の生演奏を聴く。無料。摩耶山観光文化協会（摩耶山天上寺内）☎078・861・2684

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

当社のCSR活動

株式会社 竹中工務店

想いをかたちに 未来へつなぐ

『私たち竹中グループは、ステークホルダーとの対話を深め、その想いを「まちづくり」を通してかたちにし、未来のサステナブル社会へつないでいきます』という竹中グループCSRビジョンのもとで活動を実践しています。

ZEB化改修でプラスエネルギーを達成した東関東支店

地球環境への貢献では、「自然との共生」「低炭素社会」「資源循環」への取り組みや、環境配慮の基盤となる啓発活動などを行っています。

当社は2015年より木質材料である単板積層材LVLや直交集成材CLT、集成材を使用する耐震補強技術を「T-FoRest® series」として実用化してきました。森林資源の活用や省CO2に貢献する取り組みとして、昨年「第13回エコプロダクツ大賞・国土交通大臣賞」、「ウッドデザイン賞2016・優秀賞」を受賞しました。

また、徹底した省エネルギーと創エネルギーにより消費エネルギーを正味ゼロにするネット・ゼロエネルギービル（ZEB）の普及に取り組んでいます。2003年竣工の当社東関東支店を執務しながらZEB化改修し、昨年5月から本格運用を開始。その結果、建物全体の年間エネルギー収支は、創エネルギー量がエネルギー消費量を上回り、プラスエネルギーを達成しました。実際に使用しているオフィスで、執務を続けながら改修し、ZEB化を達成した国内初の事例です。

東関東支店の内観

事業で培った「ものづくりの精神や知識・技術」を活かした活動を通して、次世代を担う人材の育成と地域の発展に貢献するため、建築文化の継承と発信にも努めています。

当社が京都府大山崎町に保有する「聴竹居（ちょうちくきょ）」は、今年5月19日付けの国の文化審議会の答申を受け、重要文化財に指定される運びとなりました。「聴竹居」は当社に在籍していた建築家　故・藤井厚二が日本の気候風土との調和を目指して建てた昭和初期の木造住宅で、工学的理論に基づいて設計された木造モダニズム住宅の先駆的存在として、高い意匠性と学術的価値が評価されました。同建物は「一般社団法人聴竹居倶楽部」を通じて見学可能です。

さらに、「竹中大工道具館」（神戸市中央区）や「ギャラリーエークワッド」（東京都江東区、当社東京本店内）等の公益財団法人の運営支援を通じ、伝統技術の伝承や建築文化の社会への発信などのCSR活動を展開しています。

木造モダニズム住宅の先駆的存在「聴竹居」

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています　領域をこえ 未来へ OJI　santica The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか　ひとのときを、想う。JT　Daiwa House　想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA　（順不同）

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp